

月次祭

これの神床に目標としてお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教△△分教会長 慎んで申し上げます

親神様の厚き親心のまに／＼ 日夜絶え間なくお見守り下され 時に臨み旬に応じて だん／＼のお仕込みを賜り 成人の道恙なきよう日々結構のお連れ通り下さいます果てしなき親心の程は 思えば思う程有難く 唯々勿体ない極みでございます います 私共は届かぬながらも ひたすら御恩報じを念じて それぞれの持場立場を通し日々励み怠りなく勤めさせて頂いておりますが 今日の日柄に当たりますので これの教会にお許し頂きました月次祭の日柄に当たりますので 只今から一手一つに明るく勇んでたすけづとめを勤めさせて頂きます 御前には今日一日を楽しみに寄り集い 喜びの心も一入に おうたに唱和して 日頃賜る厚き御恵みに事改めて御礼申し上げ 尚も変わらぬ御守護にお縋りする道の子供達の真実の状をもご覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

更には又 私共一同は教祖年祭へ三年千日の仕切の時旬を迎え 同時に大教会の神殿ふしんが来年五月には竣工 十二月には鎮座祭 奉告祭が執行されることに相成っておりますこの時に "形のふしんに先行する心のふしん" を求められ "たすけ不思議ふしん" とも教えられているお言葉を思い起こし 一層たんのうの喜びを深め "ひのきしんの日常化" を計り 逢う人毎に信仰の良さが伝わるよう努力して参りますが 何卒この心定めの実実をお受け取り下さいまして別席者や修養科生が次々と授かりますよう 又おぢばや大教会のふしんに充分なご奉公が出来ますよう 併せて私達の周囲に大きく神名が流れますようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます